

家族を見守り 介護をする
家族のために多くの時間を費やす
そうしていると、いろいろな気持ちが湧き出てくる

人に話すこと
他人（ひと）の介護の話を聴くことで
自分の介護生活を見つめなおす
自分に向かい合い、語りかけていく日々の繰り返し

人と人が手をとりあう
気持ちがつながっていく
つながりが輪になっていく
私は一人ではない、と感じられる

そんな場を用意すること
そう思える仲間を増やしていくこと
それがとりんの役割…



平成24年度 活動報告書

平成24年度をふりかえって

目次

▶ はじめに	1
▶ 活動の全体像	2
▶ 個別事業の報告	3
▶ 平成25年度の活動計画	5
▶ データでてとりん（資料編）	6
・ グラフで見る実績	6
・ メディア掲載	6
・ 定例活動の実施一覧	7
・ てとりんの運営	8
・ 平成24年度決算報告	9

平成22年4月、任意団体として家族で介護をする人（ケアラー）のサポートを掲げ、「けあらーずサークルてとりん」を立ち上げて3年、昨年NPO法人化し名称も「NPO法人てとりん」に変更し丸1年が経過しました。

本年度はこれまでの支援・居場所づくり事業である「家族介護者のつどい」や「介護おしゃべりサロン」に加え、あいちモリコロ基金助成を活用し、新たな事業として、地域での支援者を養成する「家庭介護サポーター養成講座」を開催致しました。全6回を通し、参加者の皆様の積極的な姿勢に、地域での支援者の必要性と関心の高さをうかがうことができました。

また春には、春日井市社会福祉協議会との共催事業として映画「折り梅」の鑑賞会と原作者講演会、秋には、春日井市高齢福祉課主催の地域支え合い体制づくり事業を受託し、災害時に要援護者（在宅介護者ら）を地域で支えあう仕組みや備えについて、市民向け講演会、介護専門職・行政職員向けセミナーとして開催しました。両事業とも当団体として、行政との初の協働事業となりました。

3年目の活動を通し、新たな出会いと、多くの学びを頂けましたことに感謝の思いを馳せ、活動成果をふりかえり、新たな取り組みにつなげられるよう、合わせご報告させていただきます。

NPO法人てとりん代表理事 岩月万季代

家族介護者支援の背景

日本の高齢化率は、2010年では3.0%（5人に1人）であり、2035年には30%（3人に1人）を超えると予測されています。また要介護（要支援）者の認定数は、介護保険制度がはじまった2000年は218万人であったのが、2012年月末の時点で530万人と2倍以上に増加しています。これだけ急速に高齢化が進んでいる国は、世界の先進諸国にはありません。家族介護者は、他に範を求めることのできないなかで「古い」と「介護」に向き合い、一人一人が手探りで要介護者と自分の生活を成り立たせているのが現状です。

近年では、要介護者の増加に伴い、在宅介護を希望する人々も増えてきました。一方で、核家族化と平均寿

命の伸長に伴い高齢者や男性、未婚の介護者も多くなっています。つながりの薄い社会で、孤立しがちな家族介護者は、介護に伴う身体的・精神的な負担、家計や将来の復職などに対する不安を抱いて生活しています。

家族介護者の支援は、てとりんの活動する春日井市や近隣市でも施策として位置づけられていますが、介護の状況は人それぞれであり、公的な支援だけでは届かない課題もあります。身近な場所で、日々の悩みや困りごとに、きめ細かく対応し、介護をする人も受ける人も安心して暮らせる地域をつくっていくことが、市民の立場から求められています。

活動目的

家族介護が社会から孤立しがちな現状を改善し、人々のつながりが輪となり、地域で支え合える街づくりを実現します。

家族介護者が抱える困難の例

- ・ 身体的負担や睡眠不足による健康の悪化
- ・ 介護者との関係や孤立感による精神的不調
- ・ 介護の伴う離職等による経済的な負担
- ・ 将来の生活や仕事への復帰に対する不安

平成24年度

中期目標

家族介護者が互いに支えあい、学びあう場を各地につくりだすとともに、介護者を支える人材の育成に取り組みます。

家族介護を支援する場 ・居場所づくり事業	家族介護者のつどい	231名（24回）
	介護おしゃべりサロン	711名（47回）
	個別相談	93件
家族介護（家族介護者及び要介護者に対する） サポーター養成事業	家庭介護サポーター養成講座(6回連続)	37名
	映画「折り梅」鑑賞会&原作者講演会	300名
介護に関する講演会 ・研修会等啓発事業	介護の日 講演会&セミナー	
	市民向け講演会	156名
	行政職員向けセミナー	36名
	リサイクル介護用品バザー	100名
	てとりん通信の発行	1,000部

2012

家族介護者支援にかかわる社会動向

平成24年4月
介護保険法改正

平成23年3月
春日井市第5次高齢者福祉総合計画施行（家族介護者支援施策を含む）

平成22年11月
一般社団法人
日本ケアラー連盟設立

平成22年4月
「介護者支援の推進に関する法律案（仮称）」政策大綱（素案）発表
（市民法制局社会保障改革研究会）

平成24年4月20日

NPO法人てとりん設立

平成23年度（2011）

家族介護者のつどい 216名（23回）

介護おしゃべりサロン 200名(10月～)

介護相談&交流会・リサイクル介護用品バザー 100名

平成22年度（2010）

家族介護者のつどい 120名（17回）

講演会「家族介護者の笑顔のために」

4月1日 家族介護の当事者・経験者4名が発起人となり、
けあらずサークル・てとりん 設立

家族介護者のつどい

家族介護者の心のケアを目的に、当事者同士が介護の現状を語り、交流する会を開催しました。「家族の介護」という共通の環境にある者同士が、日々の介護を通して湧き上がる感情を素直に吐き出し、他の介護者の話を聴くことにより、日々の介護生活の支えになっています。また、参加者同士で介護生活のアドバイスや、施設・サービスの情報を交換し合うなど、自助の場をつくりだしています。



本年度は、月2回、春日井市の中心部と高蔵寺地区で定期的な開催ができるようになりました。

今後は、「自宅を空けにくい介護者」や「遠方には出かけられない高齢の介護者」も、参加しやすくなるような、新たなつどいの場所づくりの検討が必要です。

- 全24回 参加者数 231名
- 主な会場 春日井市東部ほっとステーション
春日井市総合福祉センター
- 収支 収入 6,000円 支出 10,182円

+Voice+ 参加者の方から

介護については「なんで自分だけが・・・」と思っていましたが、他の方のお話を聞いて「苦労しているのは自分だけじゃない」と気づきました。てとりのメンバーは、私の健康や精神面を気づかってくれ、また、介護保険やサービス、歯科医療などの情報も提供してくれたので、日々の介護に役立っています。



介護おしゃべりサロン

気軽な雰囲気での話ができるオープンな場を、定期的で開催しました。介護者だけでなく、地域の誰もが参加でき、人が人を呼ぶ、新たな出会いと笑顔が生まれる居場所です。毎週水曜日に定期開催することにより、信頼・安心の場所となっています。



- 全47回（毎週水曜） 参加者数 711名
- 会場 春日井市東部ほっとステーション
- 収支 収入 2,400円 支出 12,127円

+Voice+ 参加者の方から

介護は日々いろいろなことがあるので、イライラしてしまうけど、それはいけないなと思い我慢しています。サロンに行くと、話を聞いてもらえるので、気持ちがスッキリして、また頑張ろうと思えます。



リサイクル介護用品バザー

各家庭で不要になった介護用品を集め、バザーを実施しました。単なる中古品の販売ではなく、スタッフが来場者の介護状況を聴き、その人にあった介護用品の選択や、使い方のアドバイスをするなど、丁寧に対応しました。また、会場の一角に相談コーナーを設け、介護の悩みや福祉施設等の情報提供、介護用品事業者による専門相談を行いました。



収益は、平成25年度春日井市市制70周年「かすがい介護フェスティバル」の活動資金となります。

- 2/24（日）10:30～15:00
- 来場者 100名 ●会場 春日井市東部ほっとステーション
- 収支 収入 135,601円 支出 18,887円
- 協力 春日井市東部安全・安心センター

個別相談

個別に対応が必要な案件について、スタッフが相談・助言をおこないました。

- 対応件数 93件 ●収支 なし
- 相談内容 悩みの傾聴、福祉サービス・施設の紹介など

家庭介護サポーター養成講座 あいちモリコロ基金助成事業（平成23年度初期活動後期）

認知症とその家族を理解しサポーターとして家族介護者会のコーディネート、傾聴者、見守りボランティア活動など行う「家庭介護者サポーター」の養成を目的として開催しました。カリキュラムは、医学、日常生活・コミュニケーション、制度・施設など多様な側面から、それぞれの専門家・当事者を講師に招き、知識とスキルの習得を行いました。また、市内デイサービスの協力により、学んだことを実践に結び付ける現場研修も実施しました。

受講者個々の理解・レベルに応じたフォローを考えること、終了後の活動につなげるしきみを整えていくことが課題です。



6回連続講座 受講者 37名

- 会場 春日井市総合福祉センター
 - 収支 収入なし（前年度繰越）支出 283,001円
 - 後援 春日井市
春日井市認知症地域連携の会
春日井市居宅介護支援事業者連絡会
春日井商工会議所
春日井市商店街連合会
- ※第1回は下記映画上映会事業と合同開催

回	日時	内容
1	5/26（土） 10:00～15:00	地域福祉のつどい「認知症と共に生きる～地域にある現実～」 ・映画「折り梅」上映会 ・原作者講演会 講師：小菅とも子
2	6/8（金） 13:00～15:30	(1)認知症とそれに向き合う家族を知る～認知症の理解と対応～ 講師：柴山漢人（あさひが丘ホスピタル医師） (2)認知症家族介護の現状を当事者が語る
3	6/22（金） 13:00～15:00	認知症を患う人の世界～認知症ケアとコミュニケーション～ 講師：沖田裕子（NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター代表）
4	7/13（金） 13:00～15:30	家族介護者の気持ちを聴く～傾聴のロールプレイを通して学ぶ～ 講師：久保典子（春日井「心の相談」センター元代表）
5	7/27（金） 13:00～15:30	介護保険制度や介護施設の利用方法や種類を知る 講師：春日井市介護保険課、春日井市内事業所職員
6	7/30（月） ～8/11（土）	一日施設研修～デイサービス利用者の実際を知る～ 受入先：あさひが丘デイサービスセンター デイサービスセンターグレイスフル春日井

映画「折り梅」鑑賞会&原作者講演会

春日井市社会福祉協議会「地域福祉のつどい」共催事業
あいちモリコロ基金助成事業（平成23年度初期活動後期）

「折り梅」は、愛知県豊明市在住の小菅もと子さんが、自身の体験を綴った認知症家族の物語です。講演後に意見交換会を行い、家族介護者、福祉関係者、一般市民それぞれの立場から、地域で認知症をどのように支えるかを話し合いました。来場者アンケートからも、認知症への関心を高められた回答を得られ、認知症と介護の実情を知り、地域ぐるみで関わりをもつことの大切さと必要性を普及することができました。



5/26（土）10:00～15:00

- 来場者 300名 ●会場 春日井市総合福祉センター
- 収支 （家庭介護サポーター養成講座に含む）

介護の日 講演会&セミナー

「介護の日」（11月11日）に合わせ、災害時の要援護者の対応をテーマに開催しました。講師には、東日本大震災において、岩手県大船渡市で行政・民間事業所協働による「高齢者の避難の確保ワーキンググループ」を立ち上げた田畑俊之さんを招き、東海・東南海大地震を想定し、地域にできること、介護職従事者の役割などを学びました。

■市民向け講演会「地域の支え合いが人を救う！」

11/11（日）10:00～15:00 ●来場者 156名

●会場 春日井市総合福祉センター ※春日井市委託事業

■行政職員セミナー「東日本大震災時の要援護者対応の現状とその後の官民協働ワーキンググループの立ち上げと取り組み」

11/12（月）10:00～11:30

※春日井市居宅介護支援事業者連絡会と共催

●受講者 35名 ●会場 春日井市役所

●収支 収入 113,750円 支出 106,841円

てとりん通信の発行

てとりんの活動報告、介護に役立つ情報、スタッフの研修レポート、催し物案内などを掲載した会報誌第3号を発行しました。今号は、てとりん参加者の介護体験を取材し掲載したことで、家族介護についてより身近に感じることができる内容となりました。



- 発行日 5/1 発行部数 1,000部
- 収支 収入 0円 支出 1,000円
- 主な配布先
 - 春日井市東部ほっとステーション
 - ささえ愛センター（春日井市市民活動支援センター）
 - 春日井市高齢者福祉課・介護保険課
 - 春日井市総合福祉センター
 - 春日井市地域包括支援センター（10ヶ所）
 - 福祉関連の民間事業所（約150ヶ所）

行政・企業から支援を受けています。

春日井市東部ほっとステーション

<http://www.city.kasugai.lg.jp/machi/13780/>

高蔵寺の中心部にある商業施設「サンマルシェ」の南館3Fにある市民活動拠点です。サンマルシェの運営会社である高蔵寺ニュータウンセンター開発㈱がCSRの取り組みとして誘致しました。春日井市役所が賃料を負担、市民活動団体10団体が運営協議会をつくって運営し、それぞれの団体の活動を行っています。てとりんは、毎週水曜日の介護おしゃべりサロンをはじめ、活動拠点として利用しています。アピタでのお買い物の帰りなどに、お気軽にお立ち寄りください。



■高蔵寺ニュータウンセンター開発㈱ CSRの取り組み
<http://www.kozoji-center.jp/contribution.html>

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

http://www.aeon.info/environment/social/aeonday/yellow_receipt.html

毎月11日のイオン・デーに発行される黄色いレシートを、応援したい市民活動団体のBOXへ入れると、お買い上げ金額の1%相当が、その団体の希望する品物等で贈呈されます。てとりんは、家族介護者のつどい、介護おしゃべりサロンで提供するお茶やお菓子、事務用品などをいただいています。



- てとりんの投函BOXがあるお店（平成24年度贈呈相当額）
 - ・イオン春日井ショッピングセンター （17,200円）
 - ・マックスバリュ 春日井坂下店 （3,600円）
- 毎月11日は、てとりんBOXへの投函にご協力ください！**

平成25年度の活動計画

多様なニーズに対応するため、事業の柱を整理し実施します。

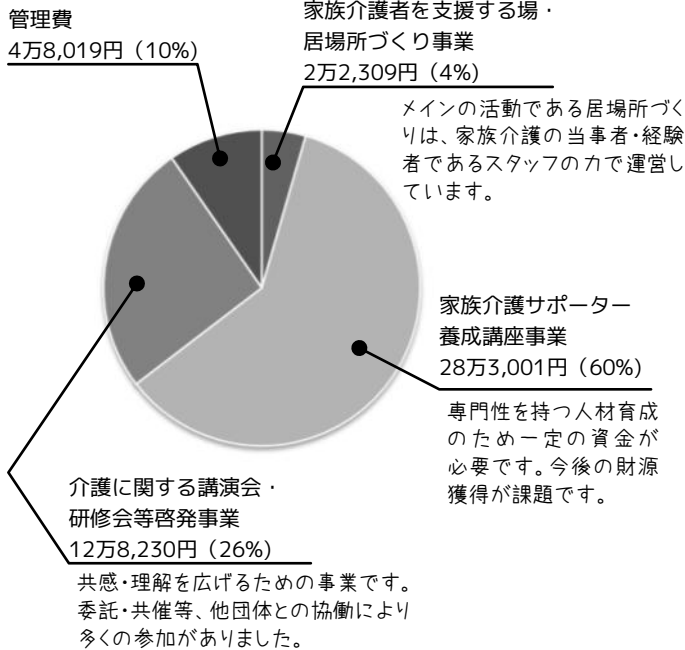
特定非営利活動に係る事業	具体的な実施内容
家族介護者を支援する場・居場所づくり事業	家族介護者のつどい（月2回） 介護おしゃべりサロン（週1回） リサイクル介護用品バザー
家族介護を支援する人材育成事業	家庭介護サポーター養成講座
家族介護に関する相談・援助事業	個別相談（随時） 電話相談（週1回、春日井市社会福祉協議会委託事業） 生活相談・援助（随時）
家族介護に関する情報収集・提供事業	春日井市内の福祉サービス・施設情報の収集・提供 てとりん通信の発行（随時）
介護に関する講演会・研修会等啓発事業	かすがい介護フェスティバル（11月16日、春日井市市制70周年記念事業）
その他、法人の目的を達成するために必要な事業	



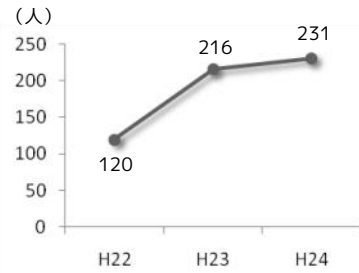
データでとりん

グラフで見る実績

(1)事業費・管理費の割合

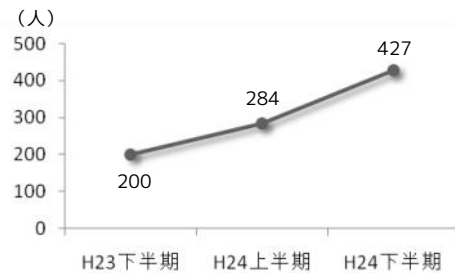


(2)家族介護者のつどい参加者推移



回数の増加に伴い参加者も増えています。24年度の平均参加人数は、一回あたり約10人です。お互いの話を聞きあいながら、じっくり話し合うのにちょうどいい人数になっています。

(3)介護おしゃべりサロン参加者推移



23年度の10月から開始したサロンは、自由に出入りできること、毎週水曜の定期開催をしていることから、着実に参加者が増え、地域サロンとして定着してきていることがわかります。

メディア掲載

「男もつらいよ」 介護の悩み共有

妻や親を介護する男性たちが「男性家族介護者のつどい」が3日、春日井市中央台のサマルシェ内、東部ほっとステーションで開催された。(編集部弘)

「地域で助け合う仕組みが大切」と話す田畑俊之さん(春日井市浅山町)は、本々災害の体験から、支援のボイトや課題を話し、津波や災害への備えを...

「助け合う仕組みを」

春日井市災害時の介護考察

春日井市浅山町の市百六十八人が参加した。総合福祉センターで十日、介護が必要な高齢者支援グループNPOの春日井市災害時の介護考察を開催した。...

▲中日新聞 10月4日朝刊 男性家族介護者のつどい

中日新聞 1月22日朝刊 ▼リサイクル介護用品バザー

介護用品 ぜひ提供を

春日井のNPO法人 呼び掛け 来月リサイクルバザー開催

昨年実施したバザーの様子。春日井市で、洗濯後であれば中古も回収する。紙おむつなどは、一部を使っただけのものもOK。

介護を終えた後、家庭で眠っている介護用品を有効活用できるようにと、とどりが昨年、次いで実施。集まった介護用品は当日、春日井市中央台、サマルシェ南館二階の東部ほっとステーションで格安で販売する。収益は家族介護者支援に充てる。

搬入が不可能な場合は自宅での回収にも応じる。問い合わせは、とどりの井筒さん(090-7867-24080)か、若月さん(090-896647416)へ。

中日新聞 11月19日朝刊 ▼男性家族介護者のつどい

男性介護者

「男性介護者」は、男性が家族介護をする際に、男性ならではの悩みや、男性ならではの支援の必要性を訴えている。...

▲中日新聞 11月13日朝刊 介護の日 市民向け講演会

●その他掲載媒体

- ・朝日新聞 9月30日朝刊 男性家族介護者のつどい告知
- ・くらしのニュース 2月14日 リサイクル介護用品バザー告知

ありがとうございました。

定例活動の実施一覧

家族介護者のつどい

回数	日付	曜日	時間	参加人数	場所	備考
1	4月6日	金	10:30~12:00	11	春日井市東部ほっとステーション	
2	4月21日	土	10:00~12:00	15	春日井市総合福祉センター	
3	5月11日	金	10:30~12:00	6	春日井市東部ほっとステーション	
4	6月1日	水	10:30~12:00	10	春日井市東部ほっとステーション	
5	6月17日	日	10:00~12:00	6	春日井市総合福祉センター	
6	7月6日	金	10:30~12:00	10	春日井市東部ほっとステーション	
7	7月21日	土	10:00~12:00	10	春日井市総合福祉センター	
8	8月3日	金	10:30~12:00	8	春日井市東部ほっとステーション	
9	8月17日	金	10:00~12:00	16	春日井市総合福祉センター	
10	9月5日	水	10:30~12:00	6	春日井東部ほっとステーション	
11	9月15日	土	10:00~12:00	8	春日井市総合福祉センター	
12	10月3日	水	10:30~12:00	5	春日井市東部ほっとステーション	男性のみのつどい、中日新聞の取材
13	10月3日	水	10:30~12:00	11	春日井市東部ほっとステーション	女性のみのつどい
14	10月20日	土	10:00~12:00	4	春日井市総合福祉センター	
15	11月14日	水	10:30~12:00	9	春日井市東部ほっとステーション	
16	11月17日	水	10:00~12:00	7	ささえ愛センター	
17	12月5日	水	10:30~12:00	8	春日井市東部ほっとステーション	
18	12月15日	土	10:00~12:00	6	レディヤンかすがい	
19	1月9日	水	10:30~12:00	16	春日井市東部ほっとステーション	
20	1月19日	土	10:00~12:00	11	レディヤンかすがい	
21	2月6日	水	10:30~12:00	12	春日井市東部ほっとステーション	春日井市高齢福祉課の見学
22	2月16日	土	10:00~12:00	11	春日井市総合福祉センター	
23	3月6日	水	10:00~12:00	15	春日井市東部ほっとステーション	
24	3月16日	土	10:00~12:00	10	春日井市総合福祉センター	

計 231

介護おしゃべりサロン

毎週水曜 10:15~16:30 @東部ほっとステーション

回数	月	日	参加人数	回数	月	日	参加人数	回数	月	日	参加人数
1	4月	4日	10	17	8月	1日	12	33	12月	5日	23
2		11日	11	18		8日	14	34		12日	12
3		18日	11	19		15日	11	35		19日	24
4		25日	10	20		26日	14	36		26日	15
5	5月	2日	12	21	9月	5日	8	37	1月	9日	27
6		16日	9	22		12日	12	38		16日	15
7		23日	12	23		19日	14	39		23日	38
8		30日	13	24		26日	10	40		30日	16
9	6月	6日	13	25	10月	3日	26	41	2月	7日	25
10		13日	11	26		10日	15	42		13日	17
11		20日	8	27		17日	23	43		27日	14
12		27日	12	28		24日	11	44	3月	6日	21
13	7月	4日	12	29		31日	11	45		13日	16
14		11日	20	30	11月	14日	14	46		20日	13
15		18日	13	31		21日	11	47		27日	17
16		25日	12	32		28日	23			計	711

会議と研修等の記録

本年度は、総会1回、理事会1回、スタッフ会議を15回開催しました。またスタッフ研修、情報収集に力を入れて取り組みました。

(1) 総会

回数	日時/会場	議題
1	4月21日(土) 春日井市総合福祉センター 第3集会室	平成23年度活動報告・決算 平成24年度活動計画・予算

(2) 理事会

回数	日時/会場	議題
1	10月4日(木) 春日井市東部市民センター 第3集会室	平成25年度の事業について

(3) スタッフ会議

定例会を月1回開催し、活動内容について打ち合わせをしました。また、必要に応じ追加開催し、事業の円滑な運営に努めました。

回数	日付	参加人数	場所	備考
1	4月20日(金)	5	春日井市東部ほっとステーション	定例
2	5月18日(金)	6	春日井市東部ほっとステーション	定例
3	6月15日(金)	6	春日井市東部ほっとステーション	定例
4	7月21日(土)	5	春日井市総合福祉センター	定例
5	8月24日(金)	5	豆三郎	定例
6	9月28日(金)	6	ささえ愛センター	定例
7	10月2日(火)	3	春日井市東部ほっとステーション	定例
8	11月7日(水)	8	ささえ愛センター	定例
9	12月18日(火)	8	ささえ愛センター	定例
10	1月15日(火)	10	春日井市東部ほっとステーション	定例
11	2月8日(金)	10	春日井市東部ほっとステーション	定例
12	2月23日(土)	26	春日井市東部ほっとステーション	バザー準備
13	2月25日(月)	5	春日井市東部ほっとステーション	バザー片付け
14	3月15日(金)	8	春日井市東部ほっとステーション	定例
15	3月29日(金)	7	春日井市東部ほっとステーション	次年度事業について

(4) 役員

役職	氏名	役職	氏名
代表理事	岩月 万季代	理事	山田 ひと美
副代表理事	井筒 久美子	理事	吉野 ちさと
理事	金森 愛子	監事	岡 妙子

(5) スタッフ研修

法人運営と介護に関する外部研修等に積極的に参加し、家族介護者を支援するNPOスタッフとしての専門性の向上に努めました。

回数	日付	人数	研修内容
1	10月16日	1	NPO法人会計基準実務講座 & 個別相談(愛知県)
2	10月21 ~28日	1	ボランティア・ミシガン研修 (ユニバーサル財団助成)
3	2月12日	1	NPO法人事務説明会(愛知県)
4	2月14日	2	平成24年度春日井市 高齢者虐待防止連絡協議会 (公開傍聴、春日井市)
5	2月15日 3月8日	9 10	「家族介護者のストレス相談」 電話相談員養成 (2回連続、自主研修)
6	3月3日	2	第11回福祉たすけあいフォーラム (NPO法人あい福祉ネット)
7	3月4日	2	要 援護者支え合いマップづくり 講座(協力参加、春日井市)
8	3月29日	8	「家族介護者のストレス相談」 勉強会(自主研修)

(5) 情報収集

春日井市内の福祉施設・サービスについての情報、介護に関する書籍等収集し、相談対応の質の向上に努めました。



(6) 会員募集

事業の参加者等に入会を呼びかけ、正会員は6割増となりました。また、団体の賛助会員で、はじめての入会がありました。

種別	合計	任意団体からの継続	新規
正会員	38	24	14
賛助会員	個人	3	2
	団体	1	0

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	49,250	
賛助会員個人受取会費	12,000	
賛助会員団体受取会費	6,000	67,250
2. 受取寄附金		
受取寄附金	39,111	39,111
3. 受取助成金等		
受取助成金	0	0
4. 事業収益		
家族介護者を支援する・居場所づくり事業	6,000	
家族介護（家族介護者および要介護者に対する）サポーター養成事業	0	
介護に関する講演会・研修会等啓発事業	229,740	235,740
5. その他収益		
受取利息	36	
雑収益	10,000	10,036
経常収益計		352,137
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
会議費	18,360	
旅費交通費	43,580	
通信運搬費	37,634	
消耗品費	40,877	
印刷製本費	17,696	
賃借料	47,100	
交際費	21,845	
お茶費	19,633	
諸謝金	185,150	
支払手数料	315	
雑費	1,350	
雑損失	16,319	
その他経費計	449,859	
事業費計		449,859
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
会議費	630	
旅費交通費	8,480	
通信運搬費	6,730	
新聞図書費	2,100	
消耗品費	15,774	
印刷製本費	3,142	
賃借料	2,300	
交際費	2,100	
お茶費	933	
租税公課	2,200	
諸会費	3,000	
支払手数料	630	
その他経費計	48,019	
管理費計		48,019
経常費用計		497,878
当期正味財産増減額		△ 145,741
前期繰越正味財産額		336,433
次期繰越正味財産額		190,692

事業別損益

科目	家族介護を支援する 場・居場所づくり事業	家族介護（家族介護者および 要介護者に対する）サポ ーター養成事業	介護に関する講演会・ 研修会等啓発事業	管理	合計
(1) 経常収益					
受取会費	0	0	0	67,250	67,250
受取寄附金	2,400	0	19,611	17,100	39,111
事業収益	6,000	0	229,740	0	235,740
その他収益	0	0	0	10,036	10,036
経常収益計	8,400	0	249,351	94,386	352,137
(2) 経常費用					
会議費	0	7,255	11,105	630	18,990
旅費交通費	0	41,960	1,620	8,480	52,060
通信運搬費	0	32,834	4,800	6,730	44,364
新聞図書費	0	0	0	2,100	2,100
消耗品費	2,510	16,263	22,104	15,774	56,651
印刷製本費	2,023	8,424	7,249	3,142	20,838
賃借料	5,100	42,000	0	2,300	49,400
交際費	0	5,000	16,845	2,100	23,945
お茶費	12,676	0	6,957	933	20,566
諸謝金	0	128,950	56,200	0	185,150
租税公課	0	0	0	2,200	2,200
諸会費	0	0	0	3,000	3,000
支払手数料	0	315	0	630	945
雑費	0	0	1,350	0	1,350
雑損失	0	16,319	0	0	16,319
経常費用計	22,309	299,320	128,230	48,019	497,878
当期経常増減額	△ 13,909	△ 299,320	121,121	46,367	△ 145,741

※家族介護サポーター養成事業は、前年度入金分を繰り越して実施しました。
また、雑損失16,319円は余剰金の返金額で実際に講座事業にかかった費用は283,001円になります。

貸借対照表

科目・摘要	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	190,692
流動資産合計	190,692
2 固定資産	
固定資産合計	0
資産合計	190,692
II 負債の部	
1 流動負債	
流動負債合計	0
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	336,433
当期正味財産増減額	-145,741
正味財産合計	190,692
負債及び正味財産合計	190,692





入会・寄付のご案内

てとりんの活動は、多くの方のご支援をもとに成り立っています。活動趣旨にご賛同いただける方からの入会・寄付をお待ちしております。

✦ 会員制度

各種行事への参加が無料または割引となります。

種別		年会費
正会員		2,000円
賛助会員	個人1口	1,000円
	団体1口	3,000円

✦ 寄付

寄付金は、家族介護を支援する人材育成事業、スタッフの研修、新規活動の立ち上げ等に活用させていただきます。

コース	金額 (1口)
蘭 らん	50,000円
牡丹 ぼたん	30,000円
椿 つばき	10,000円
さぼてん	3,000円

■振込先 ゆうちょ銀行 (店番) 218
普通 6106454

■口座名 NPO法人 てとりん

※振込された方は、お手数ですがご一報ください。

※上記コース以外の金額の寄付も受け付けています。



定例活動のご案内

♡ 家族介護者のつどい

参加者同士で、日々の介護の話をしたり聞いたりします。初めて参加される方はご予約ください。
※つどいの中でお話しされたことは守秘義務を原則とします。

毎月2回開催 資料代200円 (会員は無料)

第1水曜日 10:30~12:00

春日井市東部ほっとステーション

第3土曜日 10:00~12:00

春日井市総合福祉センターほか

♡ 介護おしゃべりサロン

どなたでもご参加いただけます。お買物帰りなどに、お気軽にお立ち寄りください。

毎週水曜日 10:15~16:00 無料

春日井市東部ほっとステーション

※サンマルシェ休館日はお休みです。

○お問い合わせ・ご予約

電話 070 - 5642 - 2616 事務局専用電話

メール tetorin2010@yahoo.co.jp

○Webサイトに活動予定を掲載しています。

<http://www.ma.ccnw.ne.jp/tetorin/>

平成24年度活動報告書 平成25年4月発行

編集スタッフ 岩月 万季代 (代表理事)

井筒 久美子 (事務局長)

太田黒 周 (ボランティア)

てとりん

NPO法人

住所 〒486-0901 愛知県春日井市牛山町2791-17

電話 070-5642-2616 MAIL tetorin2010@yahoo.co.jp

URL <http://www.ma.ccnw.ne.jp/tetorin/>

所轄庁 愛知県 平成24年4月20日設立

代表理事 岩月 万季代 事務局長 井筒 久美子

理事 5名 正会員 38名 賛助会員 個人3名・団体1団体

(平成25年3月現在)

